

授業科目 機能解剖学 II

【担当教員名】 永野 康治		対象学年	4	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	
【概要・一般目標：GI0】 解剖学の内、運動器（筋・骨格）に焦点を当て、講義を行う。主な授業内容は各関節ごとに骨格、関節構造、筋機能、神経支配、関節運動について学習する。更に、スポーツ外傷・障害との関連やスポーツ動作やトレーニングへの応用についても講義し、スポーツ現場における指導の基礎的知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 各関節の骨格、関節構造、筋機能、神経支配、関節運動について理解する。 2. 運動器とスポーツ外傷・障害との関連やスポーツ動作との関連を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	骨盤・股関節の骨格と関節構造			1	講義
2	骨盤・股関節の筋機能、神経支配、関節運動 1			1	講義
3	骨盤・股関節のまとめ			1	講義
4	膝関節の骨格と関節構造			1	講義
5	膝関節の筋機能、神経支配、関節運動 1			1	講義
6	膝関節の筋機能、神経支配、関節運動 2			1	講義
7	膝関節のまとめ			1	講義
8	足部・足関節の骨格と関節構造			1	講義
9	足部・足関節の筋機能、神経支配、関節運動 1			1	講義
10	足部・足関節の筋機能、神経支配、関節運動 2			1	講義
11	足部・足関節のまとめと理解度確認			1	講義、小テスト
12	歩行・ランニングの運動学 1			2	講義
13	歩行・ランニングの運動学 2			2	講義
14	スポーツ外傷・障害と関節機能（上肢）			2	講義
15	スポーツ外傷・障害と関節機能（下肢）			2	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		公認アスレティックトレーナー専門科目 テキスト 2：運動器の解剖と機能	財団法人 日本体育 協会	財団法人 日本体育 協会	
参考書		筋骨格系のキネシオロジー	嶋田智明	医歯薬出版	2005・10,000円
その他の資料					
【評価方法】 定期試験、小テスト			【履修上の留意点】		